

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 2373300660 |
| 事業所名 | アットホーム三谷 |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|-------|--|---------|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 商業地域の中にあり、近隣との交流は少ない。しかし、隣人は地区の民生委員として運営推進会議の参加メンバーであり、気軽に行き来する関係が続いている。 毎年中学生の職場体験を受入れている。 | 評価 ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 民生委員、地域包括支援センター職員、利用者、家族代表を招き、運営推進交着を毎奇数月に開催している。 昨秋は仮移転に伴う議題が多かったが、現在は形骸化の打開策を模索している。 隣町の同業者の運営推進会議に参加の予定がある。 | 評価 ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） 市・福祉課から生活保護受給者の受入れ打診が頻繁にあり、担当者とは常に連絡を取り合っている。 一昨年、長寿課からの依頼で「認知症ステージ表」を作成して協力したことから、長寿課との協力関係も続いている。 | 評価 ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 居室における転倒・骨折事故発生に伴い、家族からは感知センサーの設置が強く求められた。 運営推進会議で対処方法の説明と、要望に沿った運営を表明している。 | 評価 ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | ○ |
| | ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 | ○ |
| | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | ○ |
| 総合評価 | | ○ |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取組み | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

【過去の軽減要件確認状況】

| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 総合評価 | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |